

## 1輪の花と1枚の葉を通して愛情を学ぶ 140カ国代表が世界一を競う“インター・フローラ・ワールドカップ” 唯一の日本人チャンピオンが小学3年生に情操教育 2017年10月17日(火)荒川区立第五峡田小学生にて

世界を舞台に活躍するフラワー・アーティスト村松文彦(本社:株式会社村松園芸:住所:静岡県葵区、代表取締役:村松文彦)は2017年10月17日(火)に荒川区立第五峡田小学校3年生84名を対象に、講演およびガーベラとハランを用いた花育授業を行いました。



株式会社第一花きから用意されたガーベラ



村松の話真剣に聞く生徒たち



ハランを手に持ちいけばなを説明する村松

### ■花は人と人の心を伝えるもの 世界チャンピオン村松による授業

花育とは、次世代を担う子供たちが直接花と触れ合う機会を提供し、花を通して、生命あるものに愛情をかける大切さを学ぶ情操教育です。この授業は、東京都中央卸売市場の1つである北足立市場に入場する株式会社第一花きが事務局を務める「花育『一花一葉』推進プロジェクト」から依頼を受け、実施されました。

この日は荒川区第五峡田小学校3年生の全3クラス合計84名に向け、小学校のランチルームにて行われました。1時限目は3年生全員を集め村松による講演が行われ、2時限目以降は各クラスごとに花育授業が行われました。

村松は、花は音楽・絵画と共に言葉を必要としない世界の共通言語であり、それと同様に花は人と人の心を育てることを講演で必ず伝えています。

アメリカのフローラル・アートと日本の三大流派「草月流」「小原流」「池坊」を身につけた村松が、生徒たちの前で「一花一葉※」をみせると、生徒たちからは「わあ～!」「きれい～!」と歓声が上がりました。後半は生徒たちが自ら「一花一葉」を実践しました。いけばなにより、たった1輪の花と1枚の葉の表情が変わる様を見た生徒たちは、まず目の前に置かれたガーベラの花を見、香りを嗅ぎ、手に触れ質感を確かめ作品づくりに挑戦しました。最後は株式会社第一花きの講師から、毎日お水を変える事、花瓶をきれいに洗う事、そしてやがて花と葉は枯れてしまう、けれども、その時は感謝をこめてお別れすることなど、花を通して愛情をかける大切さを生徒たちに伝えました。授業を受けた

※「一花一葉(いつかいちよう)」

一輪の花と一枚の葉を用いて、独自の発想で創作をする、いけばなの表現方法の一つ。



村松自ら生徒に「一花一葉」を伝授

生徒たちは、自分の作品を大事に抱えながら、各々教室に戻りました。

村松は、140 カ国代表が世界一を競う花の競技会“インターフローラ・ワールドカップ”唯一の日本人チャンピオンです。国内外で活躍してきた村松は、日本で生産される花材の質が世界トップレベルであるものの日本の花市場が急激に衰え、なおかつお盆やお墓参りなど節目に花をたむける文化や風習が薄れていくことに危機感を覚えています。そのため、招請を受けると日本全国に足を運び、講演や授業を行っています。

村松はこれからも「花」を共通言語とした活動を行い、日本の花材の素晴らしさと、華道に代表される日本の花文化を、多くの人たちに伝えていくべく、既存概念にとらわれず挑戦していきます。

## 【花育概要】

名称:	花育「一花一葉」プログラム授業
場所:	荒川区立第五峽田小学校
開催日:	2017年10月17日(火)
時間:	8:50~12:20(1時限目~4時限目)
講師:	村松 文彦
詳細:	子供たちが直接花と触れ合う機会を提供し、花を通じて、生命あるものに対し愛情をかける大切さを学ぶことを目的とした情操教育。

## ■海外に行って分かった「花は人の心を伝えるもの」であり「世界の共通言語」

村松は園芸業を営む両親の苦勞を身近で見ていることもあり、花に対する関心はなく、むしろ芸術家を志し、大学では美術学部で日本画を専攻していました。転機は大学在学中にアメリカへ留学した時のことです。学校に互いに言葉の通じないアラブ人の男性とメキシコ人の女性がおり、男性が女性の誕生日に花を贈ったその日から、2人は誰もがうらやむほどのカップルになった事実に村松は衝撃を受けました。その当時の日本は、花といえば冠婚葬祭か生け花くらいしかなく、人と人とを結ぶものとして使われることはほとんどありませんでした。それまで知らなかった花の魅力に出会い、村松は2年間の留学中欧米各地を周ります。そして花の演出で街並みが統一され、花を贈る習慣が自然と根付いている欧米の花の文化と伝統の豊かさを胸に刻み帰国します。その後日本の3大華道「草月流」「小原流」「池坊」を学び、村松は洋の東西の花の芸術を極めます。そして、1989年世界140カ国の代表が世界一を競う花の競技会“インターフローラ・ワールドカップ”にて唯一の日本人チャンピオンとなります。

IF フローラル・デコ代表 (株式会社村松園芸 代表取締役)

フラワー・アーティスト 村松 文彦

1951年12月5日静岡県生まれ O型

玉川大学芸術学部 日本画専攻

1974年 シカゴのアメリカン・フローラル・アート・スクールを卒業。

1987年 第6回ジャパンカップで優勝。

1989年 第7回インターフローラ・ワールドカップに出場  
日本人初のグランドチャンピオンとなる。

1998年 冬季長野五輪の表彰式・セレモニーブーケデザインはじめ、  
48回の国内外での受賞歴を持つ。

その傍ら、初心者でもプロのテクニックが学べるフラワーアレンジメントの書籍を出版するなど、「花」を共通言語に、様々な分野で活動を広げている。



## 【会社概要】

ブランド名： I.F フローラル・デコ  
住所： 東京都目黒区鷹番 1-8-20・C  
TEL： 03-3719-0373  
ブランドマネージャー：村松 南(むらまつ みなみ)  
URL： <http://froraldecor.com/performers/>  
事業内容： ◆フラワー・デモンストレーション  
◆フラワー・ショー  
◆舞台装花  
◆フラワー教室  
◆ウェディング事業

社名： 株式会社村松園芸  
住所： 静岡市葵区東鷹匠町 16  
TEL： 054-246-3108  
代表： 代表取締役 村松 文彦  
URL： <http://www.muramatsu.ne.jp>  
事業内容： 園芸業

社名： 株式会社第一花き  
住所： 東京都足立区入谷 6-3-1 東京都中央卸売市場北足立市場  
TEL： 03-3857-7500  
代表： 代表取締役社長 松本 頼明  
URL： <http://www.dkfn.com>  
事業内容： 花き卸業

## 【花育『一花一葉』推進プロジェクト】

2015 年に設立された株式会社第一花きが事務局を務める花育プロジェクト。次世代を担う子どもたちのために、「花との出会いの場」となる公教育の花育授業の実施・サポートを、毎年幼稚園・保育園・小学校を対象に取り組んでいる。

WEB サイト： <http://ikkaichiyou.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

I.F フローラル・デコ株式会社  
広報事務局 担当：新保・小原 (pr@real-ize.com)  
TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788